

第 135 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2023 年 7 月 5 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1 階交流フロア

2 参加者数 16 名

3 会議内容

<新規提案>

（1）俳聖 松尾芭蕉を学ぶ講演会

【概要】

- ・俳句の町伊丹市において、俳聖松尾芭蕉の生涯や、おくのほそ道の内容について教養として皆様に知っていただくことが目的。
- ・2023 年 5 月に開催したイベントと同内容。定員を 20 名から 30 名に増やした。
- ・ホワイトボードへの板書と配布資料による講義形式。松尾芭蕉の生涯と、おくのほそ道の旅程。いくつかの句について解説する。
- ・俳句講座ではないので、俳句を創ることはしない。

【意見】

- ・前回と全く同じ内容だと、前回参加してくれた人が参加しにくいのではないかと。
→前回話せていない内容もある。内容は同じでも、掘り下げるところを変えたりして、前回の参加者も楽しめる内容にしたい。
- ・前回参加された方の年代はどれくらいが多かったか。
→50 代以上の方が多い。若者にも来てもらいたいけどどうすればよいだろうか。
- ・松尾芭蕉忍者説を推した広報をすれば若者も興味を持ってもらえるのではないかと。
→芭蕉翁顕彰会会員として、全面的に忍者説を推すことはできない。
- ・若者を意識した内容にしてしまうと、前回参加してくれた 50 代以上の方々が期待する内容ではなくなってしまうかもしれない。無理に若者を狙う必要はないのでは。
- ・伊賀学検定の問題がどんなものか、プロフィールで紹介したり、チラシに使用したりすることで、より惹きつけられるイベントになるのではないかと。
- ・伊賀学検定満点合格を推しポイントとして広報してはどうか。

（2）放課後の居場所

【概要】

・中間、期末テストの部活動停止期間に、家ではなかなか集中できない、友達どうして教え合いたい、等の中高生を対象に、学習スペースを開放したい。開催日数は未定で、スタッフの人手がどれだけ確保できるかによって決まる。

・2学期の中間考査、期末考査の時期に合わせて、10月もしくは11月の開催を目指している。時間は学校が終わった後の16時以降。

・交流フロアで地べたに座って子どもたちが宿題をしているところを見て、かわいそうに思い発案した。

・スタッフは学習支援員ではないため、子どもたちに勉強を教えることはせず、子どもたちの自習がメインとなる。

【意見】

・ことば蔵としては、交流イベントは「市民の学習交流」の場であるという条件で実施している。ただ自習を見守るだけではイベントとしての開催は難しい。また、イベントとして実施するのであれば、4階学習室との違いをはっきりさせておく必要がある。

・スタッフが勉強を教えるのは難しいのか。

→スタッフはいち保護者なので、勉強を教えることは難しい。学習支援員や塾講師のお手伝いがあれば助かるので、学習ボランティアの募集を検討してみる。

・いきいきプラザのボランティアセンターに問い合わせれば、学習支援のボランティア登録をしている人を紹介してもらえる。

・勉強は教えてもらえないとのことだが、中高生にとってこのイベントに参加するメリットは何なのか。

→勉強する場所が確保できることがメリット。

・得意な教科を他の人に教えることをメインとしたイベントにするのはどうか。

→切羽詰まっているだろうテスト期間中に、そのようなことを中高生にお願いするのは負担をかけすぎる。

・勉強したことをまとめて発表するイベントにするのはどうか。ひとり10分ほどの持ち時間で発表をしてもらおう。

・現状、公共施設の学習スペースはどのくらい混んでいるのか。

→ことば蔵では、テスト期間になると4階学習スペースは満席になることが多く、1階の丸テーブルも人で埋まっている。また、交流フロアのベンチを机として、地べたに座って勉強している子も結構いる印象。

<イベント報告>

(1) 超！初心者シニア向け スマホで写真を送ってみたいくなる講座

参加者は13人。超！初心者向けスマホ講座の第二弾。今回はLINEを使って画像を送ることが目標で、文字入力については扱わなかった。LINEを使ってグループワークを進める都合上、参加者同士でもだちになってもらう必要があった。個人情報保護のため、イベント終了後に、講座内で追加した友だちのトーク履歴の削除をスタッフの手で行った。反省点として

は、このトーク履歴の削除に時間がかかってしまい、イベント時間が長くなってしまったこと。

(2) 気になる本で話そう『女たちの避難所』 垣谷美雨/著

参加者は12人。『女たちの避難所』をテーマに自由に語り合うイベント。参加者がいつもより多くてうれしかった。本の内容についてはもちろん、参加者同士で、災害に対して備えていることを共有することもでき、とても有意義1時間半だった。また、防災士の方や、伊丹市危機管理室の職員がたまたま参加しており、伊丹市の防災についてあれこれ尋ねることができ、皆満足していた。

(3) 漫画を語ろう！

参加者は4名。今回のテーマは「出会いと別れ」。普段参加しているメンバーが一人欠席で、少し寂しかった。「出会いと別れ」がテーマということで、いろんな出会いと別れが紹介された。

また、7月から9月までのテーマも決定した。

次回は7月26日(水)18時30分～テーマ「夏に読みたい漫画」。こじつけでもなんでもいいのでぜひご参加ください。

4 次回の運営会議 2023年8月2日(水) 18:30～ ことば蔵1階 交流フロア